

公益財団法人 前田記念工学振興財団
令和 5 年度 特別研究テーマの募集
= 設立 30 周年記念事業 =

当財団では、平成 29 年より大学生及び大学院生、並びに工業高等専門学校 4 年次以上及び専攻科の学生に対して、「特別研究テーマ」と題し、海外視察や海外現地での調査活動を主活動とする研究助成事業を実施してきました。

令和 2 年よりコロナ禍のため、本事業の実施が困難でありましたが、国際社会がウイズコロナ、アフターコロナに移行していくなか、当財団設立 30 周年を迎える令和 5 年度（2023 年度）に実施することを見据え、募集を再開いたします。

募集再開にあたり令和 5 年度では、従来のグループで海外を巡る「特別研究テーマ A」に加え、学生個人が海外の研究機関等に 1 ヶ月以上滞在する「特別研究テーマ B」も募集いたしますので、学生諸君は奮ってご応募ください。

1. 内容および助成対象

特別研究テーマ A（グループ）

- (1) 内 容： 自らの将来の研究活動に役立てたり提言したりするため、海外を実際に巡り、日本を含む各国に潜在する諸課題を把握・分析し、これを解決するための工学の将来課題を発掘する研究活動に助成します。
- (2) 助成対象：日本国内の大学の工学（土木・建築・i-construction）系学部・専攻に所属する学部学生及び大学院生、並びに工業高等専門学校 4 年次以上及び専攻科の学生による 2 人以上のグループ。ただし、日本国籍を有する者が半数以上含まれることとする。（i-construction 分野の技術範囲等は、下段「8. その他（4）」を参照）

特別研究テーマ B（個人）

- (1) 内 容： 自らの将来の研究活動に役立てたり提言したりするため、日本国外に拠点のある研究機関等に 1 ヶ月以上 1 年以内滞在し、日本を含む各国に潜在する諸課題を把握・分析し、これを解決するための工学の将来課題を発掘する研究活動に助成します。
- (2) 助成対象：日本国内の大学の工学（土木・建築・i-construction）系学部・専攻に所属する学部学生及び大学院生、並びに工業高等専門学校 4 年次以上及び専攻科の学生個人。（i-construction 分野の技術範囲等は、下段「8. その他（4）」を参照）

以下、A・B 共通です。

2. 助成期間： 令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月末日まで

3. 助成予定数： 30 件程度（全体予算：3,000 万円）

4. 助成額： 100 万円以内／件

・学生個人（グループの場合は代表者）に「学資金」として交付します。

5. 応募の手続き：

(1) 実施計画書（申請書 A または B）を提出していただきます。

① 当財団所定用紙（Word）をホームページの研究助成 特別研究テーマの募集サイト

[\(https://www.maedakksz.or.jp/kenkyu_theme/\)](https://www.maedakksz.or.jp/kenkyu_theme/) よりダウンロードしてご使用ください。

② 所定用紙には、研究目的、訪問国、訪問先や概略工程・旅程、研究や調査内容、概略費用の内容、将来への成果の活用等について記載して下さい。指導教官の推薦は必須です。

A にはメンバー表、所属、連絡先を、B には、海外機関にて研究する課題区分（土木・建築・i-construction 分野）を一つ選択して記して下さい。（課題区分は、審査・選考の際に使用します。i-construction 分野の技術範囲等は、下段「8.その他（4）」を参照。）

③ 所定用紙（Word ファイル）への入力完了したら、PDF を作成し、後述の電子申請システムより両方をアップロードして下さい。PDF にはパスワードやセキュリティ設定を行わないでください。また、ファイルの容量は 5MB 以内をお願いします。

※ ファイル名は、A の場合は「R05_SPgrantA_氏名」、B の場合は「R05_SPgrantB_氏名」で作成して下さい。

例 1) R05_SPgrantA_前田太郎.pdf 例 2) R05_SPgrantB_I_鈴木一郎.pdf

④ 電子申請システム（Graain）で応募ください。ログイン URL は当財団 HP を参照。

A と B では、画面で選択する申請プログラムが違いますのでご注意ください。

所定用紙の PDF は電子申請システム（Graain）の「申請書」欄に、作成された際の Word ファイル及びその他の資料は同「提出書類」欄にアップロードして下さい。

詳しくは、「操作マニュアル・13 ページ」を参照ください。（赤字：R04/08/16 追記）

(2) 募集期間

令和 4 年 8 月 22 日（月）～令和 5 年 1 月 18 日（水）12:00 まで

6. 選考及び助成の決定

理事及び選考委員が審査・選考し、理事会にて助成を決定後、令和 5 年 3 月末日迄には連絡します。

7. 研究成果について

令和6年3月末日までに報告書を提出していただきます。報告書は当財団のHPに掲載されますのでご承知おき下さい。また、所属機関のHPに掲載された場合は、財団事務局にご連絡ください。リンクを張らせて頂きます。なお、諸般の事情等で海外に渡航出来なくなった場合には、辞退届を提出して頂きます。

8. その他

(1) ビザや海外旅行保険

当財団としては、海外での事故、傷害等に遭われましても一切責任は負いかねます。助成が決定した場合には、出発前までに必要なビザを自ら取得し、また、「海外旅行保険」に入ることを必須として保険契約書の写しを財団に提出していただきます。

(2) 渡航判断について

渡航に際しては、外務省の「海外安全情報」「感染症危険情報」で渡航先の状況を把握し、所属する機関（大学等）の方針に従って下さい。特別な事情がない限り渡航判断は、令和5年11月末日までには決定し、当財団事務局に連絡を下さい。

(3) 助成金の交付について

特別な事情がない限り、令和5年4月末日以降、出発日2ヶ月前までに、学生個人名義（Aは代表学生）の銀行口座へ送金します。

(4) 「i-construction 分野」の技術範囲

社会インフラや建築物の計画、設計、施工、保守管理、運用に至る全てのライフサイクルを対象とした、建設業の高度化・高信頼化、および国土・地域・都市・建築にかかわるイノベーションに寄与する情報通信技術を活用した建設技術を対象範囲とします。

具体的技術の例

- ① 計 画 : プロジェクト計画、プロジェクトシミュレーション、等
- ② 設 計 : 計画ツール、VR・AR・MR・SR、BIM/CIM、等
- ③ 施 工 : 施工計画・管理、センシング・モニタリング、自動化・ロボット化・機械化、パワーアシスト、UAV、CPS、5G、等
- ④ 保守・運用 : プロジェクト情報管理、施設維持運用管理、FM、等

【連絡、問い合わせ先】

(公財) 前田記念工学振興財団 事務局

Tel : 03-3222-6481 E-mail : kinen.zaidan@jcity.maeda.co.jp

以上